(D)

災害時

対

応

販

売機設置

総務課 広報広聴係 ☎75-2280 / №75-2110

の石川 伝える講師 もしろさを 漢詩の

酒をうたう詩

を通

じて漢詩文の魅力や味わい

方を

伝授

全国

ふるさと漢詩コンテス



◀最優秀賞石碑とともに 記念撮影する山田さん(写 真左) と石川会長(写真右)

11月30日、公益財団法人孔子の里主 催の全国ふるさと漢詩コンテストが東 原庠舎で開催されました。

また、漢詩コンテスト表彰に先立ち、 全日本漢詩連盟の石川忠久会長を講師 に、『酒をうたう詩』と題して公開講座 が開催され、漢詩の成り立ちや、読み 方の説明に始まり、5世紀に活躍した 陶淵明や杜甫、李白など詩人のお酒に ちなんだ漢詩を題材に、漢詩が作られ た時代背景や言葉に隠された情景など 漢詩文の魅力や味わい方を伝えました。

漢詩コンテスト表彰式では、最優秀 賞に東京都八王子市の山田治さんの 『瓶裏梅花』が選ばれました。山田さん は「漢詩を始めて15年ですが、忍耐強 く漢詩を作り続けたことが受賞につな がったと思います。大変嬉しく思いま す」と受賞の喜びを語りました。優秀 賞の受賞者は次のとおりです。

優秀賞=河野光世(東京都) 横山英子(東京都)

(敬称略)

多久市と佐賀富士ベンディング株式 会社(永田賢代表取締役)が11月29日、

災害時対応自動販売機設置協定を締結 しました。

この自動販売機は、大規模災害時に 無料で飲料水を提供できるようになり、 停電時にもバッテリーや手回し発電で 対応します。

設置は、旧北部小学校体育館と市役 所地下の市民食堂に1台ずつ。横尾市 長は「安心安全の基盤として、平時か らこのような取り組みをしていただき ありがとうございます」と御礼を述べ ました。永田代表取締役は「多久に本 店があり、ご縁があります。地域の役 に立てるように今後も努力していきた いです |と地域貢献事業に意欲的でした。

自治体と、この協定を結ぶのは多久 市で3件目。手回し発電を内蔵してい る自動販売機は業界初で、携帯電話を 充電できる設備も備えており、災害時 の安否確認等への活用に期待ができま す。



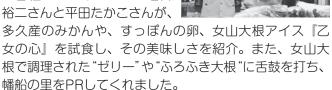
▲手回し発電の説明を 受ける横尾市長。 左は永田代表取締役。

▲協定書を手に握手する横尾市長 と永田代表取締役

KBC九州朝日放送「アサデス。」で幡船の里が紹介されました

九州で唯一の朝の生番組 KBC九州朝日放送「アサデ ス。」で、西多久町の幡船の里 が生放送で紹介されました。

番組ではレポーターの石井 裕二さんと平田たかこさんが、



放送終了後は早速女山大根の注文が入っていました。

永年にわたる福祉への貢献に対し表彰!

第1回多久市社会福祉大 会(多久市社会福祉協議会主 催)が中央公民館で開かれ、 福祉事業に永年にわたり貢献 した19人に対し表彰を行いま した。記念講演として「心豊 かに生きる」の題目で"かえ



る寺 "の愛称で親しまれている如意輪寺の住職原口元秀 さんが、さまざまな教訓や意味を持った言葉を用いて講 演され、ユーモアあふれる話しで、会場に集まったみな さんは笑顔で聞き入っていました。